

【広報新宿 8/25 号掲載】

榎町地区町連「安全安心で快適なまち」チームの取り組みについて

事業実績

開催日	令和5年7月3日(月)	実施団体	榎町地区町連
会場	榎町地域センター	参加者	51名

事業の内容

・榎町地区町連では、「安全安心で快適なまち」「人にやさしいまち えのき」「歴史と文化と心の通い合うまち」の3つのチームに分かれて毎年事業を実施している。今回は「安全安心で快適なまち」チームがローリングストックについて、講師を招いて講演とワークショップを実施し防災意識の向上を図った。  
※ローリングストックとは、日常生活で食糧備蓄を消費しながら備蓄を行うことをいう。

当日の様子

・2部構成で行い、第1部では講演会を行った。第2部のワークショップでは、2種類のモデルケースを想定し、自宅で備蓄しておいた方がいいものをグループごとに考え、発表を行った。

工夫した点

・当日のお土産としてツナ缶を選び配布した。ただ配布するだけでなく、ツナ缶が食糧としてだけではなくツナ缶の油にこより等を浸して燃やすと1時間程度明かりとして使用できることを参加者に伝え、防災意識への向上を図った。

改善点  
気づいた点等

・参加者が同じ地区内で、自分の町会以外の町会員などから様々な意見を聞くことができ、備蓄品を見直すきっかけとなった。

イベントの様子・参加者の声



【広報新宿 8/25 号】



【ワークショップの様子】



【お土産で配布したツナ缶】



【榎町地区町連 松永 健 会長(左)と中村 廣子 常任相談役(右)】  
今回ワークショップでは、それぞれのモデルケースによって備蓄しておく物品が違うことに気づきました。これからも継続して、「安全安心で快適なまち」が実現できるように取組んでいきたいと思ひます。